

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	地域づくり推進課
-----	-------	-----	----------

件 名	地域の交流について
状況等	地域の交流は、身近な隣近所の方との交流から、自治会等が企画する世代間交流があり、これらの交流や活動により、人と人とのつながりも更に広がるものと考えています。今後、様々な年代の方が交流し、地域活動や地域内の行事等に参加しやすい雰囲気づくりが大切であると考えます。

件 名	自治会役員及び地域活動のあり方について
状況等	自治会活動を支える会長をはじめとする自治会役員につきましても、なり手や後継者不足のため、長期に渡り役員を務めるとともに、市からの依頼が多方面にわたり、負担が多くなっていると認識しています。高齢化が進む中、役員や班長を務めることが困難になることも想定され、役員はもとより、地域活動に若い世代の方々が、積極的に参画できるような環境をつくるとともに、あらゆる世代の皆さんが、参加しやすい事業の展開が、今後、ますます重要になると考えています。

件 名	地域の公民館及び集会所の建設について
状況等	集会所の新設については、集会所を利用する地域の皆さんにもご負担いただき、市の補助金制度等を活用して行うこととなりますが、用地の問題や市の予算の関係もありますので、現時点では、すぐに対応できないのが現状です。集会所は、地域活動の拠点であり、重要な施設であると考えますが、集会所の新設は、市内全域において、地域における課題の整理や地域の合意形成の下の資金状況や市の予算状況を考慮しながら、優先順位をつけての対応となります。

件 名	ビッググループ滝沢の運用について
状況等	平成28年12月1日にプレオープンしたビッググループ滝沢は、賑わいを生み出す拠点として、市民の皆さんの学習、交流、活動の活性化を目的とした施設です。施設には、図書館、ホール、大中小の会議室、和室、クッキングスタジオ及びキッズルームなどがあります。今年4月1日には、観光・ブランド発信に向けた、農産物、特産品の販売や食を提供するレストランを含め、グランドオープンいたしますので、市民の皆さんに様々な場面で、この施設をご利用いただき人とのつながりが広がっていくことで、多様な市民活動の核にしていきたいと考えております。管理運営に関しては、民間ならではのノウハウ、企画力、経営感覚等を活用した指定管理者が、市民の方々に造ってよかったと思われるよう、今後、更なる情報発信に努めながら、多くの方に活用され愛される施設を目指してまいります。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
-----	-------	-----	-------

件 名	防災情報について
状況等	<p>市内に発生する災害としては、地震、風水害及び岩手山の噴火を想定しており、避難所等の防災情報については、市民の皆さんへ防災マップの配布をはじめ、広報での防災特集号の掲載や、市ホームページに防災マップや地域防災計画を掲載しております。避難所については、市で指定している避難所のほか、自主防災組織で指定している避難所があり、各地の自主防災組織で行う研修会や、防災訓練等にあわせてお知らせをしております。</p> <p>また、避難情報等をお知らせする場合は、エリアメール、消防団による広報活動等を行い、迅速に情報を伝えることができる体制となっているほか、今年度より本県の災害情報をいち早く、テレビ、ラジオ及びインターネット等で配信できるLアラートを使用しております。</p> <p>今後とも、見直し等を行いながら、分かりやすい防災情報のお知らせを目指してまいります。</p>

件 名	防災行政無線について
状況等	<p>防災行政無線の運用につきましては、様々なご意見を頂いておりますが、災害が発生した場合、災害の規模や位置、状況等を把握し、いち早く正確な災害情報を市民の皆様へ伝える必要があります。現在市では、デジタル防災無線へ移行し、より確実な情報の伝達と、伝わりやすい放送に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。</p> <p>なお、市ホームページには、放送内容を掲示しているほか、携帯メールでの放送内容配信や電話応答サービス（019-684-4192）による放送内容の案内サービスを行っております。</p>

件 名	交通安全施設（信号機、横断歩道など）の設置要望について
状況等	<p>信号機、横断歩道の設置及び交差点の改善や交通規制につきましては、各自治会及び学校からの要望を取りまとめ、所轄の警察署を通じて公安委員会に毎年要望書を提出しております。</p> <p>ただし、信号機等の設置に関しては、県内全体の状況を把握したうえで優先順位が決められており、数年継続して要望しても、なかなか実現できない箇所もありますが、今後も継続して要望してまいります。</p>

件 名	交通安全対策について
状況等	<p>交通ルール（スピードの出しすぎ、迷惑駐車など）の指導につきましては、市内交通安全関係団体及び交番・駐在所と連携し、交通安全意識の高揚と交通マナーの向上を図るとともに、違法情報につきましては、速やかに警察に通報のうえ、情報を共有し交通安全対策を推進してまいります。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	防災防犯課
-----	-------	-----	-------

件 名	防犯灯の設置要望について
状 況 等	<p>防犯灯の設置要望につきましては、各自治会より、毎年設置要望を提出していただいております。これらの要望を受け、各自治会の状況に応じて、毎年10箇所程度の整備を進めており、市内全体で約5,600箇所に設置しているところです。今後とも、予算の範囲内ではありますが、優先順位を定めながら設置を推進してまいります。</p> <p>また、管理につきましても、各自治会から修理・交換要望を受け、予算の範囲内で故障箇所の修理を進めており、今後も環境負荷軽減と省エネの観点から、防犯灯のLED化を推進してまいります。</p>

件 名	防犯対策について
状 況 等	<p>子どもの見守り活動や、特殊詐欺等に対する各種防犯活動については、市内防犯関係団体や、交番・駐在所及び所管の警察署等と連携しながら、見守りパトロール活動や啓発活動を行っております。今後も関係団体との情報共有を密にし、更に連携を深めながら、地域の防犯対策を推進してまいります。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	環境課
-----	-------	-----	-----

件 名	<ul style="list-style-type: none"> ・野良猫への餌やりと外飼いの禁止について ・犬の散歩の際における他人の敷地への放尿や糞を禁止する条例の制定について
状況等	<p>ペットは生活に潤いを与え、気持ちの安らぎをもたらす家族の一員とみなされたりしています。しかし一方では、ペット飼育者のマナーが十分でなく、周囲に様々な迷惑を与えていることも事実です。犬・猫等のペットが大好きな人もいれば、そうでない人もおり、動物を飼うことのマナーについて考えていくことが不可欠であると考えています。</p> <p>市では、広報誌やホームページへの掲載、自治会を通した立て看板の設置、犬の飼い方教室の開催等を通じて、ペットを飼うことのマナー、マナー向上を呼び掛け、周知に努めています。</p>

件 名	悪臭がひどい。どこに相談すべきか。
状況等	<p>当市に悪臭苦情が寄せられた場合、原因者に対して内容を伝え、改善するようをお願いする措置をとっていますので情報をお寄せください。</p>

件 名	滝沢市管理の墓を作ってほしい
状況等	<p>宗派を問わず利用できることから、公営墓地を希望される方が増えてきていますが、墓地造成や維持管理には多額の費用が必要となります。市内には、お寺が管理している墓地に、宗派を問わず利用できる墓地が相当数あることから、市営墓地の整備は検討しておりません。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名 等 滝沢・雫石環境組合 課 名 等 滝沢清掃センター

件 名	ごみ収集が丁寧で大変良い
状況等	お褒めの言葉ありがとうございます。今後も、ごみ収集が丁寧と言われるよう努めてまいります。

件 名	ごみステーションが遠い
状況等	ごみ集積所の設置については、基準を定めておりますので、事前に滝沢・雫石環境組合に相談をお願いします。

件 名	高齢者世帯のごみ収集は有料でもよいので、個別収集をしてほしい
状況等	各家庭のごみは、委託業者により、ごみ集積所からの収集としております。直接清掃センターに持ち込むこともできます。それ以外の方法としては、有料になりますが、収集運搬の許可業者に依頼する方法があります。各家庭からの委託業者による戸別収集は行う予定はありません。

件 名	ごみの分別が他市町村と比べて、楽であり、行政サービスの良さを感じる
状況等	ご意見ありがとうございます。ごみの分別は、地域住民のご理解とご協力があつてのことと思います。これからもごみの分別のご理解とご協力が図られるよう努めて参ります。

件 名	ごみの不法投棄について（山林）
状況等	ごみの不法投棄の対策としては、滝沢・雫石環境組合の廃棄物対策巡視員が、平日の毎日巡回をしております。発見できない場合もあると思われますので、山林等に関わらず土地所有者が、他の者によって不適切に処理された廃棄物と認められるものを発見したときは、市役所または滝沢・雫石環境組合に連絡してください。

件 名	ごみ焼却場にプールその他の施設がほしい
状況等	ご意見ありがとうございます。現在稼働しているごみ焼却施設には、発電機とボイラーが備わっており、ごみを燃やしたときに発生した熱を電気に換え有効利用しております。発生した電気のほとんどは、焼却施設を動かすための電力（全体の6割程度）として使用しております。足りない分は電力会社から電力を買っております。ご意見のありましたプール等の施設に足り得る余熱はないため、ご希望にかなわないことをご理解ください。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	市民環境部	課 名	市民課
-----	-------	-----	-----

件 名	住民票をコンビニで受け取れるようにしてほしい。
状況等	マイナンバーカードを活用し、住民票等証明書をコンビニで交付するサービスの有効性については十分認識しております。ただし、サービスの導入には多額の費用が必要となることから、他市町村の動向や市民の要望に注視しながら、費用対効果の検証もあわせて検討していきたいと考えております。

件 名	書類を依頼したときの手数料300円は高すぎる。
状況等	市民課から発行する書類として、住民票、印鑑証明書等について300円の手数料をいただいております。この手数料については、証明書を発行するために要する費用の一部に充当させていただいているものであり、近隣市町村とほぼ同額に設定しております。今後の手数料の設定についても、他市町村との均衡を図りながら、過度の負担にならないよう検討いたします。

件 名	入籍をした際、婚姻届の受理の証明書のようなものの折り方が汚く、嫌な思いをした。一生に一度のことなので、丁寧に扱ってほしい。
状況等	一生に一度の大切な届出であり、封入の際の配慮が足りず不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございません。本件については真摯に受け止め、職場内全員で共有しております。今後は受け取られる方のお気持ちを常に考え、細心の注意を払い、丁寧な対応を心掛けてまいります。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域福祉課
-----	-------	-----	-------

件 名	スノーバスターズやもっと身近な事を考えてほしい。一人で暮らす人たちをもっと大事にしてほしい。滝沢ならではの安心がほしい。
状況等	安心感が持てる滝沢を目指し、各事業に取り組みます。

件 名	人権教室を通じて正しい概念を市民の皆さんに教えてほしい。
状況等	人権教育及び人権啓発の推進のために、保育園や小学校、中学校、放課後児童クラブ、障がい者・高齢者施設を訪問し、紙芝居や花植えなどを行い、正しい概念を市民の皆さんに伝えられるよう人権擁護委員の活動を継続してまいります。

件 名	強制では無いとなっていますが、回覧で「義援金」「赤い羽根」等が回るのは変だと思う。
状況等	「赤い羽根共同募金」は、地域福祉の課題解決に取り組む活動の助成や、災害ボランティア活動支援などに活用させていただくものです。ご意見は、担当である滝沢市社会福祉協議会にお伝えいたします。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	児童福祉課
-----	-------	-----	-------

件 名	児童手当の対象年齢の拡大について
状況等	児童手当については、法令に基づき実施していますので、ご理解をお願いします。

件 名	保育士の給与等の処遇改善について
状況等	保育士の確保が困難となっているため、国において、給与アップ等処遇改善の様々な取り組みがされてきておりますので、市においてもこれに併せて改善に努めております。

件 名	保育施設の不足、保育所待機児童の解消について
状況等	平成27年度にスタートした「子ども・子育て支援制度」に併せて、「滝沢市子ども子育て支援事業計画」を策定し、取り組んでいるところであります。しかしながら、保育所入所要件の緩和や宅地開発、加えてこの2年でもニーズの変化があり、幼児期の保育の確保については計画とのずれが生じています。平成29年度にはこの計画の中間評価を実施し、確保の方策の見直しを協議しながら、待機児童の解消に努めてまいります。

件 名	保育園保育料の軽減について
状況等	保育料は、保護者の世帯の所得の状況に応じて、それぞれお支払いいただくこととなっており、その保育料の額は、国の定める基準額を上限として市町村が定めることとなっております。本市では、国が示した基準額よりも低い保育料額となっております。また、平成27年4月から施行された子ども・子育て支援新制度の施行に併せて、保育料の見直しを実施し、更なる軽減を図ったところであります。

件 名	休園に伴う保育料の軽減について
状況等	お子さんの病気やけがに伴う休園による保育料の減免については、保育料徴収規則に基づき、実施しております。休園に伴う保育料の減免については、保育料賦課決定通知時等で周知徹底に努めてまいります。

件 名	休日保育について
状況等	休日保育は日・祝日も平日と同じ理由（主に就労）で保育の必要が認められる場合に限っており、また利用にあたっては、月～土曜日のうち利用しない日を確認させていただいております。市内4園での実施となっておりますが、他園に通園している児童も利用できます。実施園の拡大につきましては、対応する保育士等の体制づくり等、運営法人の協力が不可欠であり、今後需要を見極めながら協議をしてまいります。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	児童福祉課
件 名	児童館や児童センターの設置、放課後児童クラブの整備について		
状況等	<p>他市町村においては、全児童を対象にした児童館や児童センターを設置しているところもありますが、本市においては、保護者が労働等により昼間家庭にいない、保育に欠ける児童を対象とした放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）を優先して整備しているところであり、滝沢中央小学校の開設に伴う放課後児童クラブの整備については計画しているところではありますが、その他については就学児童数や利用状況の把握に努め、学区内の放課後児童クラブ間で調整を図りながら、必要に応じて整備を検討してまいります。</p>		
件 名	放課後児童クラブの運営と保育料の軽減について		
状況等	<p>放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）は国の実施要綱に基づき、国庫補助事業として、運営を委託しているものであることから、自主運営が基本であります。事務指導や職員の確保については市も支援に努めておりますので、ご理解をお願いします。なお、受託者側より受託に支障が出てきた旨の申し出があれば、協議してまいります。また、保育料については、それぞれの父母会や運営法人がクラブの実情に応じて決定しています。各クラブは、国、県及び市の負担による委託料と保護者からの保育料によって運営されておりますので、保育料の負担についても重ねてご理解をお願いいたします。</p>		
件 名	子育てしやすい環境の整備について		
状況等	<p>核家族化の進行、就労環境の変化等、子どもと家庭を取り巻く環境の変化により、子育てを社会全体で支援していく必要性が認識されるようになり、国においては、「子ども・子育て関連3法」を制定し、平成27年度に「子ども・子育て支援新制度」をスタートさせました。市においても、平成27年度から平成31年度までの「滝沢市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、安心して産み育て、働くことができる環境の整備に取り組んでいるところです。子育て支援策は、この計画に基づき、充実に努めてまいります。</p>		
件 名	子どもの遊び場や子育て支援センターについて		
状況等	<p>既存施設の滝沢総合公園にはアスレチック、ビッグルーフ滝沢にはキッズルーム等があり、自由に利用ができます。この他、就学前の児童が対象とはなりませんが、市内4か所の保育園に設置している地域子育て支援センターやふるさと交流館において開設するわんぱく広場（日時限定）等により遊び場を提供し、併せて子育ての情報の提供や育児相談、同年代のお子さんを持つ親同士、交流を支援していますので、利用について、さらに周知を図ってまいります。なお、新たな子育て支援センターの計画はありませんが、需要を見極めながら協議してまいります。</p>		
件 名	ひとり親への支援について		
状況等	<p>ひとり親家庭への支援は、国においても児童扶養手当の児童数に応じた加算額の見直し、保育料等の軽減の拡大等により充実が図られてきております。また、市においては母子父子自立支援員を設置し、各種相談に応じておりますので、さらに周知に努めてまいります。</p>		

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	高齢者支援課
-----	-------	-----	--------

件 名	高齢化に向けての政策について
状況等	<p>高齢化が進み高齢者1人に対して2012年2.4人で、2050年には1.2人で支えていくことが見込まれています。これに伴って、介護保険サービスの利用も伸びることも想定され、それらの経費についてもどのように維持していくかなど課題が山積しているため、より長く元気であることができる健康なからだを維持していくことをはじめとした取り組みを進めながら、より効果が上がる施策や事業を展開していきたいと考えています。</p>

件 名	高齢者の入所施設等について
状況等	<p>国で市町村に策定を義務付けている計画に基づいて、各種介護保険サービス事業所や入所施設の整備を行っており、入所待機者等の課題を解消すべくそれらの対応に努めておりますが、介護人材不足等の背景もあり民間事業者の整備も十分とはいえない状況もあります。また、施設の増加や介護サービスの需要・供給が増加した場合には、介護保険料の増額も見込まれるため、それらのバランスを考えて介護等が必要な方やその家族にとって、より暮らしやすい地域となるよう取り組んでいきます。</p> <p>あわせて、施設等の情報について可能な限り情報提供に努め、介護保険サービス事業所等と力を合わせて高齢者の住みよい地域となるよう取り組んでいきます。</p>

件 名	お山の湯の存続等について
状況等	<p>お山の湯は、平成8年からの施設利用開始から多くの皆さまにご利用いただき、健康増進をはじめとして一定の成果がありました。しかし、今後の施設運営については、これまでと同じような施設運営、市の他分野での活用、民間の提案を募集するなどの検討を行ってききましたが、これまでの運営よりも効果的な手法等による施設運営は困難な状況となっていました。また、施設運営施設設備の修繕費の増加等もあって、これまでの施設運営の見直しもふまえて、平成28年12月をもって施設を廃止することとしましたのでご理解をお願いいたします。</p> <p>なお、平成29年1月以降の建物等の利用については、今後検討して決定していく予定です。</p>

件 名	市民福祉センターの改修について
状況等	<p>市民福祉センターは、障がいをお持ちの方も足腰に不安がある方もより施設を利用しやすく、また高齢者の方々を中心として幅広く利用できるようエレベーターを設置し、その他の施設の改修をしたものです。</p> <p>足をお運びいただける方もこれまであまり利用していなかった方も、睦大学をはじめとした交流の場としてご活用いただきたいと考えております。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	地域包括支援センター
件 名	在宅での地域医療、福祉、介護連携についての市の取組状況と、専門職の連携について		
状 況 等	<p>市では、今年度より在宅医療・介護連携推進事業に取り組んでおります。実施内容は、在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の開設や相談対応、連携をスムーズに行うための医療・介護関係者の多職種での研修、地域のみなさんへの普及のための講演会の開催などになります。今後も在宅医療や介護について様々な形で市民の皆様にご理解いただけるよう、また、福祉関係課とも協力し在宅で医療や介護を受けたいときにスムーズにご支援できるよう努力してまいります。</p>		

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
-----	-------	-----	-------

件 名	<ul style="list-style-type: none"> ・市に病院が足りない。 ・市立病院をつくってほしい。 ・病院がイマイチ。治らなくていつも盛岡に行くことになる。 ・かかりつけの病院がない。 ・菓子地区に総合病院の誘致をしてほしい。
状況等	<p>滝沢市内には、2つの病院と19の診療所、21の歯科診療所があります。診療科も内科、外科、整形外科、脳神経外科・内科、皮膚科・耳鼻科・眼科、小児科と診療科目も多岐にわたっています。また、県都として医療資源が豊かな盛岡市へのアクセスも良く、住民の方々は、滝沢市内を始め、盛岡市内の医療機関から病院を選択し受診していただける環境にあり、他市町村と比較して、恵まれた医療環境にあると認識しています。</p> <p>救急医療についても、休日の日中の比較的軽症の場合は、岩手西北医師会の協力により、休日救急当番医制事業を、また、夜間の比較的重症の場合は、盛岡市医師会の協力により、盛岡広域市町による盛岡地区二次救急医療事業を実施しています。</p> <p>また、岩手医科大学付属病院が矢巾キャンパスへ移転後も、既存施設を活用した初期救急を含めた病院機能を維持する予定となっています。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続して参りたいと考えていますが、市として病院を設置することや、総合病院を誘致することは、現在、考えていないところです。</p>

件 名	がん検診を盛岡でもできるようにしてほしい。
状況等	<p>現在市が実施している胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診は、市内約20会場で集団検診を行い、また乳がん検診、子宮頸がん検診につきましては集団検診の他に、盛岡市内を含む医療機関での個別検診を行っております。がん検診の検査は専門性が高く、検査を実施できる医師・医療機関も限られており、精密検査の実施までを含めると、対応可能な医療機関は少ない状況があります。</p> <p>このことから、今後も検診会場の増加や、休日検診の日数を増やす等の改善をはかり、受けやすい集団検診体制の整備を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>その他、人間ドッグを希望する40歳以上の方へは、料金の一部助成も行っており、滝沢市の他、盛岡市内の7つの医療機関等でも受診が可能となっております。</p>

件 名	健康診断は、胃カメラにしてほしい。バリウムは被ばく量が多い。
状況等	<p>現在市が実施している胃がん検診は、集団検診による胃部X線間接撮影（バリウム検査）です。この検査は、市町村が実施するがん検診として、胃がんの死亡率の減少に効果がある科学的根拠に基づく検診として、国の指針の中で示されています。</p> <p>胃カメラの検査につきましても、昨年、胃がんの死亡率減少効果を示す相応な根拠が認められ、検診としての実施が適当であると国の指針が改正されました。しかし、胃カメラを実施できる医師や医療機関の確保、検診体制の整備が必要であること、また検診費用が高額になる等の課題もあり、今しばらくは集団検診による胃部X線間接撮影の検査を継続してまいりたいと考えております。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
-----	-------	-----	-------

件 名	<ul style="list-style-type: none"> ・市になったのだから、夜間急患診療所がほしい。 ・滝沢市は産婦人科が少ない。出産できる病院が滝沢にもほしい。
状況等	<p>滝沢市は、岩手西北医師会の協力を頂きながら各事業を行っておりますが、滝沢市の医療機関数、医師数から、単独で夜間急患診療所を設置するには非常に難しい状況です。</p> <p>また、産婦人科についても、滝沢市は医療資源に恵まれた盛岡市に隣接しており、滝沢市、盛岡市の医療機関から病院を選択し受診していただける環境にあり、他市町村と比較して恵まれた医療環境にあると認識しております。</p> <p>今後も市民の皆さんが安心して生活できるよう医師会の協力を頂きながら、各事業を継続して参りたいと考えています。</p>

件 名	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりは、特別高い機械等を使用しなくても、手ぬぐい1本でもできるような講座を開いて、参加しやすいようにしてほしい。
状況等	<p>健康づくりは、一人ひとりが主体的に食生活の改善や運動習慣の定着等に向けた取り組みを行うこと、また個人の健康づくりを支援するための環境づくりや地域づくりが重要と考えています。この中で運動の定着化のための当課の取り組みとしては、地域での運動の普及を図るため運動普及推進による「ウォーキングの会」の年3回の開催や、地域での健康教室において要請があった場合はタオル体操や玄米ダンベル体操を行っております。</p> <p>また、平成28年度は初の試みとしてラジオ体操会を1回開催し、今後は各自治会の健康教室等でも正しいラジオ体操の普及に努めていく予定です。その他、運動習慣のきっかけづくりを目的に、元気アップ教室を総合公園体育館で月1回開催しており、家庭でも継続して出来る軽運動（バランスボール、セルフストレッチ、ゆる体操等）の実践を運動指導者により実施しております。今後も、家庭や地域で簡単に出来る運動習慣の定着に向けた取り組みを実施して参ります。</p>

件 名	トレッキングの企画をしてほしい。
状況等	<p>健康推進課では市民の健康づくりのため、誰でも気軽に参加できるような企画として、各自治会ごとの健康教室や、運動普及推進員によるウォーキングの会等を実施しております。また、運動習慣のきっかけづくりを目的とした元気アップ教室においては、バランスボールやゆる体操などの内容を行っております。</p> <p>トレッキングの場合は、ある程度の体力があり、装備を準備できる人など参加者が限られてしまうことや、開催側としては安全性を配慮した計画となるよう、トレッキングに関する知識や技術が必要となり、誰でも気軽に参加できる健康づくりを目的とした実施は難しいと思われます。今後も市民の皆さんが参加しやすい内容で、運動習慣の定着化を目的とした事業を継続して参りたいと考えています。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	健康推進課
-----	-------	-----	-------

件 名	女性検診を毎年受けれるようにしてほしい。
状況等	<p>滝沢市のがん検診は、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針（厚生労働省健康局通知別添）」に基づき実施しております。この中で子宮頸がん検診、乳がん検診については、科学的根拠に基づくがん検診の実施方法として、原則として同一人について2年に1回行うこととされております。</p> <p>今後も、最新の知見である国の指針に基づき、がん検診の普及啓発に努めるとともに、有効性のあるがん検診の実施に向けて取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>また、市で実施する婦人病検診は2年に1回となっておりますが、その他、40歳以上の希望者には人間ドックの料金の一部助成を行っており、生活習慣病予防健診や各種がん検診を組み合わせることで実施することが可能です（医療機関等で婦人病検診のみを受診する場合は、全額自己負担になります。）</p>

件 名	高齢者の健診無料は（市の経費削減のため）必要ないと思う。
状況等	<p>現在市のがん検診では、70歳以上の方の検診料金を無料としております。がんの発見率は年齢が上がるほどに高くなり、また70歳以上の方の中には市町村民税が非課税世帯の方も多い状況です。高齢者の受診機会の確保とがんの早期発見、早期治療により治療費も削減できる等の利点もあることから、今後も継続してまいりたいと考えます。</p> <p>また、健康診査については、生活習慣病の早期発見及び早期治療を行うことによって、医療費を抑制することを目的に実施しており、糖尿病等の生活習慣病で既に医療機関を受診している方については、必ずしも健康診査を受診する必要はありませんが、多くの市民が受診しやすいよう、市では、健康診査を無料で実施しており、今後も継続していく予定です。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	健康福祉部	課 名	保険年金課
-----	-------	-----	-------

件 名	子ども医療費給付事業の拡充等について
状況等	<p>子ども医療費給付事業の拡充につきましては、受給者負担の軽減を図るため就学前の子どもを対象に、所得制限を設けずに医療費給付事業を実施しております。また、平成27年8月診療分から、入院にかかる医療費給付事業の対象を小学生まで拡大しております。</p> <p>これまでも、制度の拡充を望むご意見を多数いただいておりますが、医療費が年々増加の一途をたどる中、現在の制度のままでの市単独による制度の拡充には、新たな財源が必要となります。</p> <p>このため、他の市町村の動向を注視し、他の子育て支援事業や市全体の既存事業との均衡を図りながら、現在の財源の中で対象年齢の拡大を含めた事業の見直しについて検討して参ります。</p> <p>なお、平成28年8月診療分より、未就学児及び妊産婦医療費受給者につきましては、医療機関を受診の際に受給者負担金のみを支払う制度（現物給付）を実施しておりますが、現物給付の拡大には事業を実施するうえで県内一斉に行う必要がありますので、ご理解をお願いいたします。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	商工観光課
件 名	チャグチャグ馬コの振興について		
状況等	滝沢市を代表するチャグチャグ馬コを伝承し、全国の方に見てもらえるように関係団体と協力しながら実施してまいります。蒼前神社と岩手山を含めた田園風景は滝沢市でなければ見れない風景であることをPRしてまいります。また、行進当日は、駐車場確保やシャトルバス運行により訪れる方の利便性も確保しながら誘客してまいります。		
件 名	岩手山麓の自然を生かした観光について		
状況等	鞍掛山、岩手山の雄大な自然を楽しんでいただくために施設を管理していくとともに、多くの方に親しんでもらえるようなイベントも関係団体と協力し実施してまいります。施設修繕も必要に応じ実施してまいります。自然資源や文化等を結び付けて地域を盛り上げる取り組みについては、市内の様々な業種の方と一体になった組織の設立を模索していますので、そちらをリードしながら推進してまいります。		
件 名	地域のにぎわい、地域全体のPRについて		
状況等	地域のにぎわいについては、商工会や商工振興会と協議しながら地域商店の取り組みを支援してまいりたいと考えています。新たにビッグルーフを活用した観光物産のPRにも努めてまいります。市内の様々な業種の方と一体になって地域経済を盛り上げる組織の構築を推進してまいります。		
件 名	特産品、産業まつりについて		
状況等	観光資源のブランド化を促進し地域経済の活性化を図るため、特産品の開発やPRを行ってまいります。クイックスweetの芋焼酎「馬芋ん」、りんごワイン「ポム」、りんご「滝沢はるか」や滝沢スイカ等PRを行っております。産業まつりについては、企業及び産業PRを行うため継続して開催し、内容や反省点については実行委員会で改善を重ねながら実施してまいります。		
件 名	雇用、就職のサポートについて		
状況等	雇用、就職のサポートについては、国との共同運営により地域職業相談室を開設し、雇用相談員による相談、求人紹介補助を行なっています。また、ハローワークと協力し個別のニーズや状況に応じて多くの方の雇用につながるように努めてまいります。		

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	企業振興課
-----	-------	-----	-------

件 名	雇用の場の確保について
状況等	<p>市では、市内経済が活性化すること、及び雇用の拡大を最重要課題としており、特に若者が家庭を持って地元で安心して暮らしていくため、働く場が充実していることが重要であると認識しております。そのようなことから、市内企業の事業拡充への支援や新たな企業の誘致に向け取り組んでいるところであります。</p> <p>市内企業への支援としましては、研究機関との共同研究等の開発に対し補助金を設置して更なる事業拡充等に対する支援を行っている他、企業間のマッチングを推進し、新たな事業の展開へと進めております。</p> <p>企業誘致につきまして、(独)中小企業基盤整備機構が所有しておりました盛岡西リサーチパークの未譲渡区画を平成26年4月に市が取得し、積極的に企業誘致を行った結果、平成28年度中に全区画の譲渡が完了する見込みであり、全体として15社計300名を越える従業員の雇用が確保されております。今後は新たな産業用地の確保について検討してまいります。</p> <p>また、岩手県立大学に隣接し、平成21年に開所致しました滝沢市IPUイノベーションセンター（貸事務所）及び平成25年度に開所しました滝沢市IPU第2イノベーションセンターでは、岩手県・岩手県立大学との連携によるIT企業を中心とした企業を誘致すべく、積極的な誘致活動を行っており、全体として22社、計約150名の従業員の雇用が確保されております。</p> <p>企業誘致につきましては、日本国内の自治体間の競争から、海外との競争に変化しております。そのような中であって、滝沢市独自の強みを生かした企業誘致が必要と考えておりますので、今後も、市内に立地する大学、人材などの強みを生かした企業誘致を積極的に推し進めるとともに、市内企業と連携し新たなビジネス創出につながる活動を進めることで雇用の場の拡大を進めて参ります。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	経済産業部	課 名	農林課
-----	-------	-----	-----

件 名	森林の土地の形質を変更する開発行為について
状況等	<p>森林を伐採または土地の形質を変更する場合の開発行為をする際は、事前に届け出や許可申請の各種手続きが必要になります。</p> <p>森林が保安林での伐採や開発行為、又は森林が保安林以外での1haを超える開発行為は県の許可手続きが必要になります。保安林以外の森林での伐採（1ha以内の開発行為含む。）は、市農林課への届け出が必要になります。</p> <p>なお、この事前の届け出や許可申請の各種手続きの記事をたきざわ広報誌へ毎年掲載して周知しております。</p> <p>市農林課の取組みについては、通常業務の際に森林伐採情報の収集及び巡視を行っております。この森林伐採情報について、平成27年度分から確認したところ、全て届け出済であることを確認し、無届伐採は確認されませんでした。しかし、今後も森林伐採情報の収集及び巡視に努めてまいります。</p>

件 名	農業等の後継者を増やした方がいい
状況等	<p>青年農業者を育成するため、市内の農業青年団体の先進地視察研修やイベント販売、加工品の開発等の活動を支援しております。また、青年就農給付金により、新規就農者の経営の早期安定及び就農後の定着を図っていきます。今後もこれらの取り組みを継続し、農業の担い手の確保に努めてまいります。</p>

件 名	自然が豊富で直売所も多くあるが、「買って食べてみたい」という感じがしない。若い世代の農業人を育成し、新しい感覚を取り入れることや、市でも補助する仕組みづくりが必要
状況等	<p>農業青年の経営の幅を広げるため、六次産業化セミナーにより加工・販売に取り組む農家を増やす取り組みを行っております。また、市内農業青年団体の加工商品の開発の支援も各関係機関と連携しながら、支援しております。農業者が六次産業化等、新たな経営に参入できるよう、今後も取り組みを継続してまいります。</p>

件 名	「農地を守ること」について
状況等	<p>農林課および農業委員会など関係機関が連携することにより、優良農地の確保に努めていきます。</p> <p>具体的な事例としては、農業委員の日常の監視活動及び農地パトロール並びに住民からの情報に対応し、遊休農地・違反転用の早期解消に努めております。また、農地あっせん事業、農用地利用集積、農地中間管理事業を活用し、担い手へ集積することで優良農地が守られるよう努めております。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市計画課
件 名	室小路地区の土地区画整理事業への支援をしてほしかった。		
状 況 等	<p>室小路地区の土地区画整理事業につきましては、地権者等で構成した組合を設立し組合施行として事業を実施いたしました。事業に際しては補助金を支出したとともに、区域に接続する都市計画道路を築造しており、市としても事業に対し支援してまいりました。</p> <p>なお、事業につきましては平成26年度に完了しております。</p>		
件 名	公園の遊具を整備してほしい。新たに公園を整備してほしい。		
状 況 等	<p>現在、市では滝沢総合公園をはじめ市内に192箇所の公園が配置されております。公園及び遊具のほとんどは、民間団地開発の際に設置されたものであり、老朽化などにより修繕・更新が必要な遊具については、自治会の意向を確認しながら更新を進めております。</p> <p>今後におきましても、ニーズを把握しながら遊具の更新を進めてまいりたいと考えております。また、現在新たな公園の整備は計画されておりませんが、自治会へのアンケート調査などの結果を踏まえながら、公園の統廃合を含めた整備について検討してまいりたいと考えております。</p>		
件 名	市街化調整区域の解除など土地利用を見直してほしい。		
状 況 等	<p>市では、盛岡市、矢巾町とともに、盛岡広域都市圏を形成し、広域的に土地の利用方法を決定しています。その中で、無秩序な開発を避ける目的として、市街化を誘導する市街化区域と、市街化を抑制する市街化調整区域に区分されております。（両方の区域に該当しない区域もあります。）</p> <p>市街化調整区域は、広域圏において農地や自然などを守る役割を担うため、新たな開発や建築に厳しい規制を設けるものです。区域の見直しについては、おおむね5年に1度、人口動態、大規模開発などを調査したうえで必要に応じ公共の見地から行いますが、将来区画整理事業や民間開発など市街地として整備が確実な区域などでなければ見直しすることができないこととなっております。</p> <p>よって、今後におきましても地域の開発意向などを確認するとともに、人口の動向などを踏まえ、将来、市全体が魅力あるまちとなるよう検討してまいります。</p>		
件 名	市役所周辺の開発をしてほしい。その他の地域の開発をしてほしい。		
状 況 等	<p>市役所周辺については市の中心拠点として位置付け、将来の市にふさわしい中心地の形成を目指して事業を進めております。中心拠点に必要な施設や機能のうち、平成28年12月にプレオープンし、平成29年4月にグランドオープンする市役所前のビッグルーフ滝沢など行政が担う施設や機能などについては充足されたと考えており、今後は民間事業者により商業や生涯学習などの機能を有する施設を整備することにより、市の中心拠点としてふさわしいまちづくりを実現したいと考えております。</p> <p>なお、東部地域など各地域の市街地整備につきましても、民間事業者等と協議をしながら各地域にふさわしいまちづくりを形成してまいります。</p>		

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	都市計画課
-----	-------	-----	-------

件 名	市営住宅を建設してほしい。
状 況 等	<p>現在、市には一本木地区に10棟の市営住宅がありますが、全戸入居済みであり、新たに入居を希望する方には大変ご不便をおかけしています。</p> <p>市営住宅の設置の手法としては、市による住宅の建設、買い取り、借り上げなどの形態がありますが、いずれも相当の公費を要するものであり、慎重な検討が必要です。盛岡市近郊の住宅地である本市においては、現在、多様な住宅の供給は充足しているものと捉えており、市営住宅によらずとも皆さまのニーズに応じた住宅はある程度取得可能と考えております。</p> <p>よって、現在のところは市営住宅の新規整備の計画はありませんが、住宅情勢等の変化に応じて、需要の高まりが見られたときに検討していきたいと考えております。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	市道の除雪について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物（通称赤線等）について除雪を行っております。</p> <p>○除雪のタイミングが悪い 市道の主要路線につきましては、午前7時完了を目標に行っておりますが、降雪状況により除雪に長時間を要した場合などで、各地区間での除雪時間差が生じ、各家庭で除雪した後に除雪車が入った場合もあり、ご迷惑をおかけしたこともあったと認識しております。除雪作業は、降雪量、雪の降り方、地域の状況などにより、大きく完了時間は左右されますが、初期除雪の徹底など作業業者と連携して、スムーズな除雪を進めてまいりますのでご理解とご協力をお願いします。なお、平成26年度からは各地区ごとの委託業者の中から班長を定めるなど試行錯誤しながら、地域にあった除雪が行えるよう努力しております。</p> <p>○除雪の仕上がりや頻度など地区により差が生じている 市内を地区分けし、業者に委託して除雪を行っており、地区により降雪状況が異なる場合があることから地区毎に出動を指示する場合がありますため、地区により除雪回数に差が出るがありますが、作業員の資質の向上と作業の均一化などを業者とともに一層徹底してまいります。</p> <p>○圧雪凍結での段差など危険箇所の解消と幅員の狭い道路の除雪 道路が凸凹とならないよう均一的に作業を進めるほか、交差点やカーブなどは見通し悪化に配慮するなど、各地区の積雪特性や重要ポイントなどを整理検討し、冬季間の交通安全を確保しています。 また、幅員の狭い道路につきましては、安全確保のため雪の寄せ方等の工夫により、少しでも幅を確保できればと考えていますので、地域の皆様と情報交換を重ね、より良い除雪を進めていきたいと思っております。</p> <p>○私道などの除雪対策 私道の管理は所有者や使用者によることとなっております。私道への支援として、一定の要件はありますが除雪費の補助行っておりますのでご利用ください。</p>

件 名	市道の新設改良について
状 況 等	<p>滝沢市の道路整備計画により、効率的かつ効果的な整備を目指しております。</p> <p>○歩道の整備促進 新設改良の際に歩道を設置しているほか、小学校などの教育施設周辺から、交通安全対策として順次整備を進めております。 なお、歩道を整備する際は段差の少ないバリアフリー構造としております。</p> <p>○道路の新設や改良・改修促進 幹線市道と国・県道の整備、市総合計画などと整合した一体的整備が必要な箇所について、優先的に進めております。 また、側溝改修や路肩拡幅などにより、歩行者や車両すれ違い空間の確保を図っているほか、低騒音・排水性舗装なども進めております。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	道路課
-----	-------	-----	-----

件 名	市道の維持管理について
状 況 等	<p>市道及び市が管理する法定外公共物（通称赤線等）について、維持管理を行っております。</p> <p>また、舗装の全面補修や側溝の設置など費用のかさむ工事については、滝沢市の道路修繕計画の中で、緊急性や危険度を検討し順次整備を進めています。</p> <p>○市道維持管理全般 管轄する道路等について、日常的に道路パトロールを行い、即時対応できる簡易な補修等はその場で行うなど迅速化を図っています。しかしながら、市道延長は500km以上に及んでおり、全ての状況を短期間で把握することは難しいため、道路を利用される皆様からの情報提供をお願いいたします。</p>

件 名	県道について
状 況 等	<p>○主要地方道盛岡環状線 盛岡環状線は広域的な主要幹線道路であり、市内においては重要な生活道路として利用されていますが、特に国道4号分岐交差点から国道46号までの区間は、県内外からの大型車の通過交通が多く、交通混雑が慢性化しているとともに、幅員の狭小や線形の不良などにより危険な区間が多く、重大な交通事故も発生しています。</p> <p>このことから、管理者である岩手県に対し継続的な改善要望を実施しており、現在市内において約1,000mの道路改良事業が実施されているところですが、平成27年度篠木工区が事業完了し野沢工区についても平成28年度に完成しました。引き続き危険箇所などの情報提供を行いながら、未改良区間の早期事業化を強く要望してまいります。</p> <p>○県道盛岡滝沢線 盛岡方面から主要地方道盛岡環状線までの区間について、管理者である岩手県に対し道路拡幅、歩道整備を要望しており、平成25年度から下高柳地内の1工区約750mの道路改良事業が実施され平成28年度に完了いたします。平成27年度より下鵜飼地区についても事業着手を行い、さらに事業の促進を要望してまいります。</p>

件 名	国道について
状 況 等	<p>○国道4号 国道4号盛岡北道路（盛岡市茨島跨線橋～滝沢分岐交差点）については、関係市町村による「国道4号盛岡北道路整備促進期成同盟会」を組織し、国に対して整備促進と財源確保の要望活動を継続してきたところですが、平成27年度に4車線供用開始になっており現在電線地中化工事を行っております。</p> <p>○国道282号 一本木地区のバイパス工事が進められ暫定開通していますが、引き続き岩手県に対し早期の全線開通を要望してまいります。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	交通政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	市内の公共交通について
状 況 等	<p>滝沢市の公共交通については、高齢者、公共交通不便地域の住民、さらには今後増えてくる免許返納者の移動手段の確保が課題となっております。</p> <p>市では、人口減少、少子高齢化、マイカー依存等の影響により公共交通（特に路線バス）の利用者が減少する中、平成28年度に公共交通マップを作成し全戸配布する予定であり、公共交通の利用を促進して維持するとともに、民間及び市が運行するバス、鉄道、タクシーを含めた総合的な公共交通計画（交通政策マスタープラン）を平成27年度より策定しているところであり、市全体の持続可能な公共交通のあり方について、都市計画、観光、福祉、環境等とも連携を図りながら検討して参ります。</p>

件 名	市内バス関連について
状 況 等	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスのダイヤ・運行本数などについて <p>滝沢市は盛岡市と同じ生活圏ということもあり、市内のバス路線は盛岡市中心部への連絡が主であり、市役所への連絡をはじめ市内地域間を連絡するバス路線は少ない状況にあります。</p> <p>路線バスは需要と運行経費のバランスにより維持されておりますが、その利用者数は全国的に減少が続く一方で、運行経費を左右する便数、料金等については採算性を考慮した運行とならざるを得ない現状にある中、昨今の燃料高騰や建設事業の需要拡大等によるバス運転手の不足がさらに輪をかけ、年々減少もしくは一部廃止を余儀なくされている状況にあります。</p> <p>現在、市内を走行する路線バスの運行本数についても、県内では盛岡市に次いで多く運行されている状況となっておりますが、年々減少しており、地域生活の足を守るという観点から今後とも積極的なご利用をお願いいたします。</p> <p>市といたしましてもバス事業者等と課題を共有しながら、利用しやすい効率的な運行の調整に努めて参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内を結ぶバス網について <p>市内の各地域間と市役所を連絡する路線については、過去に巢子地区から市役所周辺まで民間路線バスを走らせましたが、利用者が少なく廃止に至った路線もあり、継続的な運行の確保が難しい現状にあります。よって、市内の公共交通の利用実態をよく把握したうえで持続可能な市内幹線バス網について検討しなければならないと考えております。</p> <p>市では、各地域と市役所を連絡するバスとして、どなたでも乗車できる「福祉バス」を月、金曜日に運行しております。（※「福祉バス」の詳細はホームページ等をご覧ください。）また、平成29年度には福祉バスの全3系統を試験的にビッグルーフ滝沢へ乗り入れる予定です。</p> <p>今後は、市内各地域から市役所周辺を連絡する公共交通ネットワークの構築について、利用実態をよく把握したうえで、現在策定しております交通政策マスタープランの中で検討して参ります。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	交通政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	スマートインターチェンジの整備について
状 況 等	<p>スマートインターチェンジについては、利便性の向上や渋滞緩和、地域経済活動の基盤整備、救急医療支援、観光振興等、様々な整備効果が期待されております。</p> <p>平成25年6月に国から市道茨島土沢線（ガスタンク付近）への接続許可が下り、同年から事業着手しているところであり、現在は設計、用地補償がほぼ完了し、まもなく本体工事に着手する状況となっております。</p> <p>また、名称も「滝沢中央スマートインターチェンジ」に決定され、利用促進のためのPR活動も含め、平成31年3月末の供用開始に向けて共同事業者であるネクスコ東日本とともに取り組んで参ります。</p>

件 名	大釜駅・巣子駅の駐車場利用について
状 況 等	<p>大釜駅・巣子駅駐車場は、自家用車（駐車）と鉄道またはバスを組み合わせる「パークアンドライド」を目的に連続して3日間まで無料、4日目以降は1日につき500円の有料とし、運営しております。</p> <p>近年、巣子駅のパークアンドライドによる鉄道利用者が増えたことにより、駐車場の満車状態が続き、駐車場外への無断駐車も散見されることから、駐車場の適正利用が図られるように周知や指導を行うとともに、今後、駐車場の完全有料化等につきましても検討をして参ります。</p>

件 名	小岩井駅周辺の整備について
状 況 等	<p>JR小岩井駅周辺整備事業については、小岩井地域の利便性、活性化、公共交通の利用促進、さらには通学児童生徒の安全性の向上を目的として事業を進めて参りましたが、現在は市の財源上の理由から事業が停滞している状況にあります。今後は、地元及びJR東日本と密に協議を行い、事業再開に向けて努力して参ります。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	都市整備部	課 名	河川課
-----	-------	-----	-----

件 名	河川公園や土手などの樹木の下草の手入（河川課及び都市計画課）
状 況 等	<p>滝沢市管理の普通河川（市管理）につきましては、一部委託により定期的な刈払い等を実施していますが、すべての河川について実施できていないというのが現状となっています。</p> <p>また、河川環境の保全については、自治会に代表される組織や団体との協働が可能であり、一部では、地域の自然は地域で守っていくという機運の盛り上がりが見えてきていることから、自治会や河川愛護団体との協働作業による1級河川及び河川公園（共に県管理）での除草等を実施しています。</p> <p>今後は、市管理河川への展開を図るとともに、地域の協働作業による活動を支援していきたいと考えます。</p>

件 名	上下水道の整備だけでなく、雨水の整備をしてもらいたい。
状 況 等	浸水被害の発生している地域から優先的に、改修及び整備を実施しています。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	上下水道部	課 名	水道整備課
-----	-------	-----	-------

件 名	上下水道の区域について
状況等	<p>上水道について、給水区域内の場合であれば、水道を必要としている方が、必要な口径で必要な場所までの工事費等を負担してご利用いただいております。さらに、私道であれば、埋設される水道管も個人管理となります。</p> <p>なお、給水区域内で公道に面している場合、「未給水地域解消事業における配水管整備要綱及び取扱要領」により、3件以上の既存住宅が給水申し込みすること等を要件に市で配水管を整備する制度があります。</p> <p>下水道について、下水道処理区域内であっても、私道には原則として公共下水道の整備は行っておりません。</p> <p>ただし、公共下水道処理開始から3年以内で、私道土地所有者の登記についての承諾や私道に面した全世帯の水洗改造の合意があることなど、一定の条件を満たせば、市で整備する制度がありますので、その際はご相談いただきますようお願いいたします。</p> <p>上記以外の場合は、私道がある地区を市が整備している期間内で、私道の土地所有者から承諾をいただけた場合、下水道管が入っている市道との境界から1m以内の私道地内に、市が「公共汚水ます」を設置します。その「公共汚水ます」までは個人で整備していただくこととなります。私道に面する人が複数人の場合などは一度に整備した方が個々のご負担が減る場合もあります。</p>

件 名	水道の水をもっとおいしい水にしてほしい。高齢者にはまずいと思っている方が多い。薬の入れ方を少し考えてほしい。
状況等	<p>上水道などの水道は水道法により塩素消毒が義務づけられていますが、市では「安心・安全な水」に加え、「おいしい水」を意識した浄水処理に努めております。</p> <p>具体的には、浄水場で作られた水道水の水質はもとより、実際に給水されている水道水の水質を監視するため、市内の11名の方に、臭い、味、残留塩素濃度などの水質検査を毎日お願いし、水道事業ガイドラインで示されている「塩素臭を不快と感じなくなる残留塩素濃度0.4mg/L」以下であることを確認しております。</p> <p>においや味などは個人差がありますが、明らかに通常と異なるにおい、味などが感じられた場合は、ほかの理由による水質汚染が考えられることから、市としても水質検査や是正措置など速やかに対応いたしますので、すぐにご連絡いただきますようお願いいたします。</p>

件 名	滝沢市の水道料は、盛岡市に比べると安いと思う。水がおいしい。
状況等	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>滝沢市の水道料金体系は、メータ口径や使用量によっては安い場合もございます。水質につきましては、岩手山麓由来の良質な水源が豊富であることから、将来とも低コストでおいしい水を給水することが可能と考えております。これからも、「安心・安全な水」に加え、「おいしい水」の供給に努めてまいります。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	上下水道部	課 名	下水道課
件 名	下水道の普及促進について		
状 況 等	<p>滝沢市が実施している下水道（污水）事業は、「市が整備する公共下水道による処理事業」と「個人で設置する合併処理浄化槽への経費補助事業」の二つとなります。</p> <p>公共下水道は、どこの場所でも行うものでなく、市街化区域や人口集中地区など、効果的に行うことができる地域を定めて市が実施しています。これ以外の地域については、個人の方々が合併処理浄化槽による水洗化をすることとなります。お住まいの地域がいずれの地域であるかは、お問い合わせをお願いします。</p>		
件 名	農業地域の下水道整備について		
状 況 等	<p>滝沢市が実施している下水道（污水）事業は、公共下水道事業と合併処理浄化槽補助事業の二つがありますが、どちらの事業であっても、家屋工事費など個人負担があります。</p> <p>また、大沢、篠木（一部）で行っていた「農業集落排水事業」は、現在では公共下水道事業に統合されたため、農業集落排水事業としての新規整備は実施していません。旧農業集落排水事業区域以外の地区は合併処理浄化槽による処理となります。</p>		
件 名	下水道普及の現状と今後の見通し		
状 況 等	<p>滝沢市の下水道の普及率は、平成27年度末現在で公共下水道が65.6%、浄化槽が16.8%の合計82.4%となっており、公共下水道を整備している県内23市町村中で9番目の普及率となっています。</p> <p>今後は、平成28年度に実施した「下水道事業に関するアンケート」の調査結果を参考としながら平成29年3月策定予定の今後10年間の整備構想である「下水道事業概成アクションプラン」により整備を進めていきます。</p>		
件 名	近くに下水道があるのに下水道を入れてもらえない		
状 況 等	<p>ご意見から推測しますと、下水道が入っていない土地は、公共下水道の区域外であると思われます。公共下水道は、公共施設であるため、整備する区域が市街化区域であるか、人口密集地であるか、などの条件があるほか、工事費は個人が負担する必要があることについてご理解をお願いします。下水道の区域外である場合は、原則として、合併処理浄化槽の設置になります。</p> <p>なお、公共下水道が入っている道路と家屋が接している場合は、個人負担により公共下水道が使用できる場合がありますので、ご相談ください。</p>		

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	上下水道部	課 名	下水道課
件 名	小岩井地区の下水道工事について		
状 況 等	<p>小岩井地区の下水道工事は、人口集中地区を第1期、第2期に分けて、第1期工事を行っています。完成は平成31年度頃となる見込みです。第2期工事の時期や範囲については、現在まだ未定となっており、今後、他地区とのバランスや工事費などを考慮しながら、地元と協議して決定する予定です。</p> <p>公共下水道は、公共施設であるため、地域、工期などに一定の条件があることについてご理解をお願いします。</p> <p>なお、公共下水道の計画区域外である場合は、原則として、合併処理浄化槽の設置になります。</p>		
件 名	生活排水の垂れ流し、悪臭等について		
状 況 等	<p>お住まいは、公共下水道の区域外と推測いたします。市でも状況に応じて現場で対応していますが、軒数が多い、経済的理由などにより、なかなか解決に至っておりません。合併処理浄化槽の設置が解決につながるものと思われませんが、地域全体での合意が重要であることや排水先があるかなどの課題を解決する必要があります。</p> <p>市では生活排水を未処理のまま流している人に対して浄化槽の設置について指導を行っております。また、浸透式浄化槽の設置など、ご家庭の状況に合わせた処理方法についてのご相談にも対応しております。今後も指導等は継続して行いますが、ぜひ地域の課題としていただきたいと思いますと考えております。集会などがあつた際にはお呼びいただければ、汚水処理に関する情報提供をいたしますのでご連絡ください。</p>		

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会	課 名	教育総務課
-----	-------	-----	-------

件 名	滝沢中央小学校について
状 況 等	滝沢中央小学校は、県内最大の児童数となっている鶉飼小学校及び滝沢小学校の学校規模の適正化を図り、もって、教室不足の解消等、児童の教育環境を整備すべく進めてきたものです。現在、平成31年4月開校に向けて事業を進めており、所期の目的を果たして参りたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

件 名	教育委託について
状 況 等	滝沢市の児童は、原則として自分の住んでいる市の学校に通うこととなりますので、滝沢中央小学校開校に伴い、平成31年4月から、盛岡市への教育委託は解消する予定です。なお、特別な事情のある場合は、個別にご相談ください。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会	課 名	学校教育指導課
件 名	いじめのない安心・安全な学校づくりについて		
状況等	<p>本市といたしましては「滝沢市いじめ防止等のための基本的な方針」を策定するとともに、各関係機関の協力をいただき「いじめ防止等対策協議会」を設置し、いじめ防止取り組みの推進に努めております。</p> <p>市内全小中学校では、毎月11日を「安心・安全・心の日」とし、心に響くような講話や安心・安全につながる活動を通して、『命を大切にすること』や『他を思いやる心』を育む取り組みを推進しております。</p> <p>また市教育委員会及び各学校においては、相談体制を整えておりますので、ご心配な点やご不明な点については、お気軽にご相談願います。</p>		
件 名	学力向上の取組について		
状況等	<p>本市学校教育目標である「明るく かしこく たくましい子ども」の育成をめざし、「確かな学力を育む教育の推進」、「豊かな人間性や社会性の育成」、「健康・安全活動の支援」の3つの施策を展開しております。特に、学力向上については、小中学校の9年間を見据えた『ジョイントアップ・スクール事業』や個々の児童生徒に対するきめ細やかな指導のために、盛岡大学の学生を活用した『ラーニング・サポーター・プロジェクト事業』などの取り組みを推進するとともに、教員研修の充実を図り、教員の授業力・指導力の向上に努めております。</p> <p>また、市内各学校においては、部活動等を含め創意工夫ある教育活動が進められていると捉えておりますが、その推進には学校・家庭・地域・行政が一体となり連携を深めながら取り組んでいくことが必要であり、今後もより一層の充実に努めて参ります。</p>		
件 名	スクールカウンセラーの配置について		
状況等	<p>スクールカウンセラーは、臨床心理士またはそれに準ずる資格を有する者を県教育委員会が採用し、県内各学校に配置しております。県教育委員会は、できるだけ多くの学校への配置を目指しており、各学校においては、週1回または隔週での訪問となっておりますが、カウンセラーは1人で複数の学校を受け持っており、日々いずれかの学校を訪問し、相談等に対応しております。</p> <p>また市教育委員会においても、「すこやかテレフォン(019-687-3866)」相談専用電話を開設し、相談体制の充実に努めておりますので、ご活用願います。あわせて、女性の方のカウンセラーにご相談したい場合は、市内の別な学校に女性のスクールカウンセラーもおりますので、ご相談ください。</p>		

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会	課 名	生涯学習文化課
件 名	サークル活動について		
状況等	<p>生涯学習文化課では、毎年「生涯学習ガイド」を作成しております。「生涯学習ガイド」では、市内で活動されているグループ・サークルや、様々な分野の指導をしている講師、滝沢市ふれあいまちづくり出前講座などの紹介をしております。</p> <p>「生涯学習ガイド」は市役所のほか、東部出張所、滝沢ふるさと交流館などに設置しています。ご連絡いただければご郵送いたしますので、是非ご利用ください。</p>		
件 名	<ul style="list-style-type: none"> ・滝沢市独自での芸術分野に関する取組及び芸術に対する援助について ・市内の小中学生の芸術鑑賞について ・芸術文化活動の促進について 		
状況等	<p>滝沢市では、平成28年4月より第1次滝沢市生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」を施行しております。同計画に基づき、子どもから高齢者まで全ての世代が、文化芸術を学び親しむ学習機会や体験活動を通じ、ふるさと滝沢を再発見・再創造し、伝統を受け継ぎ未来へと継承ができる地域づくりリーダー育成・活躍を支援しています。</p> <p>このほか、文化芸術振興による地域づくりに尽力されている滝沢市芸術文化協会と市行政が連携・協働した「芸術祭たきざわ」を毎年開催し、劇団ゆうによる「演劇部門」において市内小中学生も出演していることから、市内小中学生もクラスメイトなどの活躍を応援に演劇部門鑑賞を行っています。</p> <p>芸術文化活動の促進については、より多くの芸術愛好家の皆さんが参加しやすく、小中学生や高校生、大学生、地域で活躍する若者たちを巻き込んだ芸術祭運営などについて市芸術文化協会などと相談しながら、考えていきたいと考えております。また、文化芸術団体の活動支援にも力を入れて取り組み、地域と市行政の連携・協働による文化芸術振興を通じた地域活性化を図ります。</p>		
件 名	吹奏楽を通じた文化活動を世代間交流の推進について		
状況等	<p>市内の小学校吹奏楽団や中学校・高等学校・大学生の吹奏楽部の発表の場の創出と市民の皆さんへの鑑賞機会と吹奏楽に親しむ場の提供を目指した「滝沢市吹奏楽ジョイントコンサート」を平成27年度まで開催していました。</p> <p>しかし、平成28年度以降の開催を休止している状況となっていることから、今後、滝沢市芸術文化協会や交流拠点複合施設ビッググループ滝沢などと、吹奏楽を通じた文化活動による世代間交流の推進について相談していきたいと思ます。</p>		
件 名	広報掲載記事「滝沢の歩み」について		
状況等	<p>「管轄地誌」という史資料をそのまま引用し「魚花」と表しましたが、その読みや意味に説明が不足していました。また、資料内容については課員の共通理解により疑問に答えられるようにいたします。</p>		

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会	課 名	生涯学習文化課
-----	-------	-----	---------

件 名	講座の見学について
状況等	<p>滝沢市では、平成28年4月より第1次滝沢市生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」を施行し、現代社会の変化に伴い多様化する地域課題や教育課題が解決できる地域づくりを目指した生涯学習関連施策の展開を推進しています。</p> <p>平成29年度から新たに小学生や親子、成人を対象とした「生涯学習講座」を開催し、地域課題解決支援学習や郷土理解、復興・防災・環境学習、国際理解・国際交流などをテーマとした学習機会の充実に努める予定です。</p>

件 名	滝沢市の伝承に関する講座について
状況等	<p>滝沢市では、平成28年4月より第1次滝沢市生涯学習推進計画「学びプランたきざわ」を施行しており、持続可能な地域づくりの実現を目指し、次代を担う地域づくりリーダー育成・活躍の支援充実が求められていることから、受け継がれてきた伝統の力と若い新しい力の融合による地域づくりの推進を図っています。</p> <p>平成29年度から新たに小学生や親子、成人を対象とした「生涯学習講座」を開催し、郷土理解などをテーマとした学習機会の充実に努める予定です。</p>

件 名	幼児や小学生などが体を動かせるようなイベントについて
状況等	<p>生涯学習文化課では、滝沢市少年団指導員協議会が開催する体験型の事業を共催しています。</p> <p>夏に開催される「友遊キャンプ」では、親子でキャンプをするなかで、登山やキャンプファイヤー、野外あそびや炊事などのさまざまな体験活動ができます。また、冬に開催される「プレイスクール」では、かまくらや雪だるまを作る雪遊び、雪上での忍者遊び、綱引きなどの体験活動ができます。</p> <p>事業の参加者募集のお知らせは、広報やホームページなどで行ってまいりますので、ぜひご参加ください。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会	課 名	スポーツ推進課
-----	-------	-----	---------

件 名	スポーツ関連行事が少ない
状況等	市内でのスポーツ関連行事は、滝沢市体育協会主催による、市民体育祭（前・中・後期）やスポーツフェスティバルなどがあります。市民の参加状況は減少傾向にあることから、より親しみやすく、気軽に参加できる方法や種目に変更するなど、スポーツ行事の今後の開催方法について現在検討しております。

件 名	東部体育館の施設改修等について
状況等	東部体育館の施設改修の必要性は十分認識しており、平成29年度から、施設改修の手法や財源確保の方策について調査研究します。また、単なる修繕にとどまらず、地域コミュニティや防災などの観点からも最適な施設改修の在り方を検討します。

件 名	スポーツ施設の充実について（滝沢インター周辺や各自治会に体育施設がほしい）
状況等	施設を充実させることは、市民のスポーツへの関心度を高めたり、動機付けとなったりする要因のひとつであると考えます。一方で、第1次滝沢市スポーツ推進計画策定時のアンケートによると、「一緒にスポーツを楽しむ仲間がいる」ことや「スポーツが苦手な人でも気軽に参加できる」ことがより重要視されています。また、市役所周辺を市民の交流拠点と位置付けていることから、滝沢総合公園体育館を中心としながらも、他の施設を利用しやすい（アクセスしやすい）環境づくりについて、関係する部署と共に検討してまいります。

件 名	自治会での体育施設の利用について（公平に使用できるようにしてほしい）
状況等	滝沢総合公園体育館や東部体育館などの公共体育施設を利用する際は、各種大会やイベントでの利用等、予め日程を調整した案件以外については、特定の団体を優先すること無く、電話を介して先着順で予約を承っており、予約に関しては一定の公平性が保たれているものと考えております。今後は、より公平性が保たれるよう、インターネットを利用した予約方法、希望多数の場合には抽選を行うといったことも検討しております。なお、特定の団体が優先されているという事実が続くようであれば、担当課へ直接ご相談して頂ければと思いますので、情報提供をお願いします。 また、小中学校等の体育施設の利用については、当該施設を利用する団体で運営委員会を組織し、運営委員会で各団体の毎月の利用日時や回数の調整を行っています。このうち、現在の運用では、子ども会、PTA、自治会など、学校（学区内）との関わりが深い団体については、一般利用よりも優先されることとなっています。学校体育施設の利用希望者は増加していることから、従来の運用方法を基本としながらも、お互い様の気持ちをもって、誰もが気持ちよく利用できるよう、運営委員会等へ助言を行います。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	教育委員会	課 名	スポーツ推進課
-----	-------	-----	---------

件 名	ゴルフ練習場について（ゴルフ練習場が少ない）
状況等	スポーツを通じて、市民同士のコミュニケーションの機会が高まることは、非常に望ましいことですが、第1次滝沢市スポーツ推進計画策定時のアンケートにおいて、「現在行っている」又は「これからやってみたい」スポーツとして、「ゴルフ」の回答率は必ずしも高くないことから、ご意見として承ります。

件 名	東部体育館の使用方法について
状況等	東部体育館に限らず、市内の体育施設をご利用いただく際、中学生以下が利用される場合は必ず大人の方に付き添っていただくこととしております。安全面を考慮しておりますので、ご了承ください。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	総務課
-----	-------	-----	-----

件 名	職員の対応が悪い
状況等	市民の皆様への対応をよりよくするために、職員に対して窓口における指導や研修等を実施しておりますが、皆様の苦情やご意見を踏まえて、お客様の立場を考えた対応ができるよう、より一層取り組みを強化して職員の対応に満足していただけるよう、今後とも指導等を行ってまいります。

件 名	市や仕事の知識をもっと多く持って、より適正な仕事をしてほしい
状況等	仕事と共に市の仕事に必要な知識等を多く身につけるよう職員に指導すると共に、ミスのない事務を行うために必要な研修を実施しながら、市民の皆様がより満足していただくことができるよう各種業務を実施してまいります。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	<p>【総合計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「住民自治日本一」を掲げ、市民は何をしたらいいのか ●市民との情報共有を進め、若者等を含めた幅広い市民参画が必要ではないか ●総合計画の認知度を高めて、市民参加の推進を図ってほしい
状 況 等	<p>滝沢市では、平成27年度より、新しい総合計画のもと、「市民主体による幸福感を育む環境づくり」の基盤を8年間で構築することとしています。そのための行動計画となる4年間の基本計画では、市民が主体的に活動するための「地域別計画」と、市行政がその活動をサポートするための「市域全体計画」に分け、市民が主体的に活動することをとおして、幸福感を育む環境の基盤を構築することとしています。</p> <p>これらを踏まえて、市民の皆様が幸福感を育む活動の一例として「幸福実感一覧表」を、それをサポートする行政の行動として「暮らしやすさ一覧表」を、それぞれ一般市民の方々のご意見をいただきながら策定しました。特に「幸福実感一覧表」においては、幸福感を感じる行動例を各場面・各年代に分けることによって、全世代の市民の皆様にご利用していただけるものとしております。</p> <p>第1次滝沢市総合計画の中では、「住民自治日本一の市」を、「住民自らが住みよい地域を考え、思いやりと協力の気持ちを持ち、地域や仲間と関わることに「満足」と「幸福感」を日本一実感できるまち。」と定義しております。</p> <p>市民の皆様におかれましては、「市民自らの作った計画に基づいて、地域仲間と一緒に行動することによって、幸福感を感じる。」という、第1次滝沢市総合計画の趣旨をご理解いただき、幸福実感一覧表を参考にいただきながら、地域や仲間との関わりという「人とのつながり」を育み、様々な活動に取り組む中で「幸せ」と感じる機会を増やしていただきたいと思います。</p> <p>また、市民の皆様が第1次滝沢市総合計画に基づき幸福感を育む前提として、総合計画自体の周知を図り、認知度を高めるということは非常に重要な役割を担うものと認識しております。</p> <p>昨年度より具体的な周知として、基本構想パンフレットなどの全戸配布や、市広報での記事の連載、総合計画に基づく地域づくりを進めるためのフォーラムを3回開催するなど、様々な手段を用いた周知活動を実施してまいりました。</p> <p>今年度においても、引き続き広報で記事の連載を行ったほか、市役所1階ロビーでのデジタルサイネージ（電子機器による表示）を活用し、滝沢市公認キャラクター「ちゃぐぼん」による総合計画概要の説明など、更なる周知に向けた取り組みを実施しております。</p> <p>今後も引き続き、総合計画の推進にご理解、ご協力をくださいますようお願いいたします。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	<p>【市制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市になった良さがわからない ●市制について、今後、学んでいきたい
状 況 等	<p>市制を実施したことによるメリットとして、まず一部事務において権限移譲がなされたことにより、県を介することなく市が直接サービスを提供できるようになったことが挙げられます。これにより、市民の皆様にも最も身近な分野である保健福祉分野において、迅速性と利便性が向上し、より地域の実情に即した行政サービスの提供が可能となりました。</p> <p>また、都市的なイメージが増したことにより、現在も微増ではあるものの人口が増加し続けており、今後の企業誘致の促進や雇用機会の増加も見込まれます。</p> <p>市制については、「市になったから終わり」ではなく、「このようなまちにしたい」という市民の皆様の実現するきっかけの一つと捉えることが重要です。滝沢市として、次の世代の子どもたちが、ここ滝沢市で就職し、家庭を持ち、未来を担っていくことのできるよう、市民の皆様が地域をつくり、行政がそれを支えるという形で「住民自治日本一」の滝沢市を目指してまいりたいと考えています。</p>

件 名	<p>【広域連携・地方創生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●盛岡市に依存している部分が多く感じられる ●少子高齢化社会、人口減少問題について
状 況 等	<p>滝沢市は、その立地及び文化的要件から古くから盛岡市との密接な関係にあり、現在でも市民の通勤・通学、事業活動においても一体性を有しており、近隣8市町で「盛岡広域圏」を構成しています。共通する行政課題に連携して取り組むことにより、求心力のある中核的な都市圏の形成、各自治体の一体的な発展および住民福祉の向上を図る必要があります。</p> <p>また、人口減少の克服と地方創生の実現に向けて、国は「まち・ひと・しごと創生法」を定め、滝沢市においても、平成27年10月に「滝沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、移住・定住の促進や雇用創出による人材活用、子育て及び地域交流を軸とした「幸福感を育む環境づくり」に向けた施策を推進しております。</p>

件 名	<p>【陸上自衛隊岩手駐屯地について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自衛隊の音と振動について ●演習予定の日程の周知について
状 況 等	<p>陸上自衛隊岩手山中演習場における砲撃演習の騒音などについては、騒音が一定の基準を超えると判断された区域に対して障害を防止するために東北防衛局にて住宅防音工事助成を行っております。詳しくは、東北防衛局防音対策課へお問い合わせください。</p> <p>また、演習予定につきましては、随時、市ホームページでお知らせしておりますのであわせてご活用の上、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	<p>【アンケートについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アンケートの意義は何か ●質問が多い、抽象的で分かりづらい、同じような質問が多い ●アンケートのたびに毎回対象となる、本当に無作為なのか ●アンケートの郵送料がもったいない ●アンケートを実施したのだから活用してほしい、結果を知らせてほしい ●アンケート内容（問2、問6など）について
状況等	<p>アンケートの調査内容は、第1次滝沢市総合計画基本構想に掲げている「幸福実感一覧表」及び「暮らしやすさ一覧表」を基に設定しています。特に、「幸福感を育む環境づくり」を進めることとしている総合計画において、「幸福実感一覧表」は、各年代、生活の各場面で幸福感を育むための行動例などについて多くの市民の皆さんが参加した検討において、滝沢の将来像を実現するための想いを表したものととして考えられたものです。</p> <p>調査項目は、そのような検討から設定された指標を、毎年定点観測することにより、過年度との比較を行い、市民の皆さんの生活環境、意識がどのように変化しているかについても取りまとめており、その推移・結果を市の施策へ反映させております。そのため、アンケートの質問項目については、設問数も多く、また、抽象的な質問もございますが、市民の想いが表れているものでございますので、ご理解をお願いします。</p> <p>また、対象者の抽出ですが、アンケート実施のたびに、市内にお住まいの方から3,000人を無作為抽出（地区・年代については考慮）しております。そのため、場合によっては複数回お願いする方や、ご家庭のご事情などを考慮することができずにご協力をお願いすることもございます。対象者については、必要最低限の経費の中で、調査の信頼性を担保するため設定しておりますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>問2（1）から（9）については「地域子ども」を想定しており、問6については「限られた財源の中で行政サービスの維持に努める」ことを前提としています。ご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>なお、アンケート結果については、広報たきざわ及び市ホームページで公表いたします。平成29年度秋に同アンケート調査を実施予定ですので、対象者となった方はご理解、ご協力をお願いいたします。</p>

件 名	<p>【市の窓口サービスについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今後も窓口延長を行ってほしい
状況等	<p>勤務時間外の開庁時間の延長については、現在、毎週水曜日19時まで開庁時間の延長を実施していますが、認知度が低いこともあり、平成29年度は夜間の窓口延長を周知を強化し、利用率を高めることで市民の皆様の利便性の向上を進めることとしております。</p> <p>また、市役所の支所としては、市の東部地域（葉の木沢山地内）の勤労青少年ホーム内に「東部出張所」を設置しており、基本的な証明書発行や、健康福祉分野での申請受付などを実施しています。</p> <p>さらに、一本木簡易郵便局では、住民票や印鑑証明書等の交付事務委託を実施しております。ご利用に際しては市民課・東部出張所窓口と一部業務範囲・申請方法などが異なりますので、ご確認の上ご利用ください。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	企画政策課
-----	-------	-----	-------

件 名	【統計調査】 ●統計調査員について
状況等	<p>日頃より統計調査へのご協力を賜り誠にありがとうございます。国勢調査の調査員につきましては、調査の都度、市の登録調査員と各自治会から推薦を受けた方へ、また国勢調査以外の統計調査につきましては、原則として市に調査員として登録をいただいている方へお願いをしております。国勢調査の調査員の任期につきましては概ね2か月、国勢調査以外の統計調査の任期につきましても各種統計調査の内容により異なりますが、毎月勤労統計調査などの長期に渡る統計調査を除いては、概ね2か月程度となっております。</p> <p>また、調査員をお願いする際には、調査区が調査員の自宅からできるだけ近いこと、また調査員からの要望にできるだけ沿うように配慮させていただいておりますが、必ずしも調査員のご自宅近くに割り当てることができない事例もございます。</p> <p>最後に、個人情報の取扱については、統計法で守秘義務について定められており、業務で知り得た個人や団体の秘密を他人に漏らしてはならない旨が規定されております。これに違反する者には罰則も規定されております。</p> <p>今後とも統計調査へのご理解・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。</p>

件 名	【広報・ホームページについて】 ●広報・ホームページをもっとわかりやすくしてほしい ●ホームページだけではなく、広報にも掲載してほしい
状況等	<p>現在、広報たきざわは、5日号と15日号の毎月2回発行となっております。5日号は20ページを基本とし、市政の方針や事業など、市民の皆さんにお知らせしたいさまざまな情報の提供をしています。15日号は6ページを基本とし、翌月のカレンダー(休日当番医や子どもの検診日程など)を折り込んだ「お知らせ版」となっています。</p> <p>限られた紙面の中で、市としてお知らせしたい情報と市民の皆様が読みたい情報を融合させながら、読みやすく、かつ、分かりやすく提供するため、プロジェクトチームを設置しました。現在、この中で広報紙に関するアンケート調査(平成27年度実施)の結果を分析し、広報紙面の改善検討を進めています。</p> <p>限られた情報発信の機会をより有効に活用するため、広報紙の他、ホームページや回覧板、フェイスブックなど様々な手段を用い、今後も情報発信に一層努めてまいります。</p>

件 名	その他ご意見などについて
状況等	<p>市の将来へ向けた多くのご提言やご意見をいただき、ありがとうございました。滝沢市に住んでいる皆様からの貴重な「想い」と考えております。</p> <p>いただいたご提言やご意見は職員間で共有し、滝沢市がより住みよいところとなるよう、取り組んでまいります。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	財務課
-----	-------	-----	-----

件 名	財政運営について
状 況 等	<p>市の財政運営については、持続可能で安定的な財政環境を保つために、歳入歳出両面からの施策が必要であり、聖域を設けることなく制度の根幹まで踏み込んだ抜本的な見直しを徹底的に行い、可能な限り歳入の拡大と歳出の削減を図ることとして、平成27年度当初から財政構造改革に着手しております。</p> <p>具体的には、予算執行改革として、セーフティーネットの維持と都市型の決算構造への転換を主眼とし、事務事業について歳入内容、各種受益者負担、事務事業など、県内の他都市との比較を実施いたしました。予算編成改革として、各部署等へ財源を配分することで歳入の範囲で予算を編成することを厳格化し、次年度以降の複数年の予算編成も想定しながら、さらなる自主財源の拡大と事業の厳選及びサービスと負担のあり方の検討を行ってきました。</p> <p>併せて、国の地方財政対策を基本に将来にわたり持続可能で安定的な財政運営を行って行くための指針として平成32年度までの市の財政指針を「滝沢市中期財政計画」として定めております。</p>

件 名	公共施設のあり方について
状 況 等	<p>公共施設の主たる公共施設の現況調査等を実施し「滝沢市公共施設最適化計画」を策定いたしました。平成26年度以降は、本計画や財源等を総合的に勘案しながら、公共施設の修繕や改修に取り組んでおります。また、公共施設だけでなく道路や上下水道といったインフラ資産も対象とする「公共施設等総合管理計画」の今年度内の策定のほか、施設種別ごとの「個別計画」の平成29年度以降の策定に向けて、現在、検討を進めております。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	税務課
-----	-------	-----	-----

件 名	税金の金額が高すぎる。どうかしてほしい。
状 況 等	<p>市・県民税は、一定以上の収入がある方に等しく負担していただく均等割と、所得金額に応じて負担していただく所得割額で構成されており、所得割につきましては、全国統一の税率（税率は市6%、県4%）が採用されています。</p> <p>固定資産税につきましては、個別の資産価値に基づいて計算される税であるため、所得水準と連動していない点から、所有資産と収入の状況によっては負担が大きいと感じられる場合もあるかと思いますが、課税方法の違いによるものですので、制度の趣旨を踏まえ、ご理解頂きますようお願い致します。</p> <p>また、制度の見直しにつきましては、国の制度改正等に従い遅滞なく対応して参りますので、重ねてご理解頂きますようお願い致します。</p>

件 名	数年前と比べて現在の徴収が多く、生活に支障をきたしてる。市民への徴収減額を考えてほしい。
状 況 等	<p>住民税の変動につきましては、所得課税の性質上、ご本人の課税所得額の変動によるものと考えられます。また、所得割額は収入金額による累進性はありませんので、税額に応じた所得の増額、或いは控除額の減少（扶養対象の方が減った、社会保険料の支払額が減ったなど）が背景にあります。</p> <p>税額計算の方法については、市独自の決まりではないため変更はできませんが、税額が増額になった原因については個別に説明対応致しますので、急激な税額の増に対して疑問がある場合は、税務課までご相談下さい。</p>

件 名	年金は上がっていない。これ以上税金を上げないでほしい。
状 況 等	<p>住民税の税率につきましては、国と地方の所得課税配分の見直しに伴い、平成19年度の住民税から10%（市6%、県4%）になっていますが、以後税率改正は行われておりません。</p> <p>なお、今後の市税制につきましては、国の税制改正等に影響される部分も大きいため、今の時点で明確な回答は困難な状況です。この点につきましてご理解とご協力をお願い致します。</p> <p>また、個別の事例として税額が大きく変動している場合は、年金支払者からの年金報告や、申告内容に変動がある場合が考えられます。</p> <p>税額に疑問がある場合は、税務課までご相談下さい。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名	企画総務部	課 名	収納課
-----	-------	-----	-----

件 名	対応の仕方が悪すぎる
状 況 等	収納課では納税の相談をお受けする際、税金の仕組みや制度的な要件をお話しさせていただく場合がありますが、こうした説明においては伝わりにくい場合が考えられますので、おいでいただいた方のお話をよく伺いながら、わかりやすく丁寧な対応を心がけて対応してまいります。

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名 等 議会事務局

件 名	市議会議員が多いのではないかと。議員の活動、あり方など見直す機会はあるのか。役割分担はされているようだが、1人1人がどのような活動しているのかわからない。
状 況 等	<p>進む地方分権の流れの中で、自治体の意思決定機関である議会の存在意義はますます高まっていると考えます。そのことを受けて市議会では、あるべき議会の理想像を全体で議論し、実現の手段も含めた『議会基本条例』を制定しました。</p> <p>条例の中では、分権時代に適応した「提言型議会」を目指すこととしており、平成26年4月にはフォーラムを開催して、議会のめざす姿と、今後議員となる人のために活動しやすい環境（定数・報酬等）はどうあるべきか等市民の皆さまと共に議論し、現在の定数に至っております。</p> <p>これらの情報は「議会報告会」で説明し、また「たきざわ市議会だより」に掲載して、全世帯に配布させていただいております。</p>

件 名	市議の活動が見えない。
状 況 等	<p>市議会では、議場でのいわゆる「本会議」の他にも、市民の意見を聞くための「議会報告会」等を開催したり、地域課題解決のための委員会での調査研究等、1年を通して活動するため「通年議会制」を導入し、日々活動しております。</p> <p>これらの活動は、出来る限り市民の皆さまに提供すべく、紙媒体で全世帯に配布している「たきざわ市議会だより」やホームページに掲載しております。</p> <p>また、本会議や各委員会ほどなたでも傍聴が可能であり、会議日程についても随時情報提供させていただいております。</p> <p>出来る限り見やすい工夫、迅速な情報提供に今後も努めてまいります。</p>

件 名	行政サービスを充実させるため、市民負担を増やすことがあるが、議員の給与を減額することや人員削減が必要だと思ふ。近頃、議員の不正会計による税金のムダ遣いが目立つ。まずは、議員教育が必要と考える。「なにかあれば辞めればいい」と言う考えがあり、選挙をやり直すお金も無駄である。罰則を強化すべき。
状 況 等	<p>議会の役割の1つとして「行政サービスの充実が図られているのかを監視する」ことが挙げられます。議員削減によりこの役割が維持できなくなることは避けなければならないと考えます。</p> <p>このため、議員一人一人がこのことを強く自覚し、政務活動費の不正使用等は厳に慎み、倫理的義務を果たさなければならなりません。</p> <p>また、罰則強化による防止もさることながら、議員としての品位の保持と、高い識見を養う不断の努力をしております。</p>

平成28年度 滝沢地域社会に関するアンケート調査における自由意見について

部 名 等 選挙管理委員会事務局

件 名	選挙の投票場所について
状 況 等	<p>投票所につきましては、市内に13ある投票区ごとに1か所ずつ投票所を定めており、投票日の前までに有権者一人一人に投票区及び投票所を記載した入場券を郵送しております。</p> <p>また、投票日当日に仕事やレジャー等により投票ができない方は、投票日の前日まで市内の期日前投票所での投票が可能ですので、日程場所等を確認の上ご利用ください。（平成28年に執行された第24回参議院議員通常選挙においては、滝沢市役所、滝沢勤労青少年ホーム及び岩手県立大学に期日前投票所を設置しました。）</p>